

科目名	平面構成				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2022年度 前期	単位数	2		
担当教員	高橋 延昌				
内容および計画	あらゆるデザイン分野の基礎造形理論として、形態や色彩による平面構成の能力を演習しながら養う。形態の基礎となる点・線・面の特性及び相互関係を理解し、色彩については色相・明度・彩度及び心理的作用や錯視等を効果的にデザインに活かすことを演習課題を交えながら学ぶ。				
1	ガイダンス				
2	構成エレメント（点・線・面など）				
3	構成エレメント（点・線・面など）				
4	構成エレメント（点・線・面など）				
5	構成と心理及び手法（錯視など）				
6	構成と心理及び手法（錯視など）				
7	各デザイン分野への応用				
8	各デザイン分野への応用				
9	色の基本（色相・明度・彩度など）				
10	カラーシステム				
11	色の見え方とはたらき				
12	色とイメージ				
13	配色の基本と応用				
14	配色の基本と応用				
15	配色の基本と応用				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『色彩検定対策テキスト 3級編』（2020年改訂版）	公益社団法人色彩検定協会	公益社団法人色彩検定協会	9784909928030	2020
参考書	①朝倉直巳著『芸術・デザインの平面構成』六耀社 ②朝倉直巳著『芸術・デザインの光の構成』六耀社				
成績評価					
	評価方法			割合(%)	
	出欠状況			30	
	課題作品			70	
学習到達目標	あらゆるデザイン分野に共通する基礎知識として、形や色など基礎造形を理解する。				
先修条件					

実務経験	
その他	<p>内容は後期の「色彩構成」につながるので、「色彩構成」(色彩検定対策講座)を履修する予定も考えられるならば前期の「平面構成」から継続的に履修しておくことが望ましい。</p> <p>あらゆるデザイン分野に共通する造形の基礎(カタチや色)を学ぶ内容なので、所属するゼミ(分野)に関係なくきっと役立つ基礎造形理論である。デザインの基礎として是非デザイン情報コースの学生全員に履修してもらいたい。</p>